

2023

VOL.1

# JAPAN

日本

FSCアジア・パシフィックプロジェクト



Forest Stewardship Council® (FSC®, 森林管理協議会) | FSC認証 | つなぐの森ハリパー

# FSCメイド・イン・ アジア・パシフィック マガジン

---

FSC アジア・パシフィックチームのビジョンは、様々な視点からの物語を通じて、FSC 認証取得者やプロモーション・ライセンス取得者の成功を記録していくことです。2023 年、アジア諸国でのパンデミック対策が徐々に緩和される中、ついここに FSC メイド・イン・アジア・パシフィックが創刊されました。

毎号、アジアの1つの国にスポットを当て、現地の印象的なストーリーを紹介しながら、持続可能なビジネスについての貴重な新しい知見をお届けします。桜が満開の季節に、私たちはまず日本の中部地方を訪れ、素晴らしい FSC プロジェクト認証の取り組みを見て来ました。その成果として、人間と自然が織り成す絶妙な調和へとあなたをいざなう物語が集まったのです。

この旅を形作った人物のひとりが、インタビューにご協力いただいた喜多茂樹氏です。彼は、幸福と健康をもたらす快適な住まいを作ることをライフワークとしています。彼のエネルギーは、周りの人々を感化し、結びつけ、その分かち合いの精神が、ありふれたインタビューを、深く心温まる対話へと変えてくれました。

FSC ジャパンチームの多大なるサポートと、取材にご協力いただいた方々にお礼申し上げます。皆様の協力なくして、FSC メイド・イン・アジアパシフィックの発刊はありませんでした。

## FSCメイド・イン・アジア・パシフィックとは？

FSCメイド・イン・アジア・パシフィックは、新しいライフスタイル・コンセプト・マガジンです。軽妙なインタビューを通じて、FSC認証取得者やプロモーション・ライセンス取得者の、森林にやさしい持続可能なビジネスの視点を探り、アジア太平洋地域の多様性、活力、そして絶え間ない進化をお伝えします。

# 目次

- 4 エコ建築考房の健やかな理想郷づくり
- 10 春日井の家：日本の風土と技術を感じる建築
- 12 コインランドリーと学習塾  
業界初になる
- 16 東濃檜：自然からの贈り物
- 19 FSC プロジェクト認証を理解する

3

この創刊号の写真は、写真家のベン・ビーチ氏によって撮影されました。イギリス出身、東京在住の彼は、仕事でもプライベートでも、日本の豊かで多様な文化、伝統建築、そして優れた職人技をテーマとして追いつけています。顧客には、日本政府観光局、東京都、CNN、ブルームバーグが含まれます。



**BEN BEECH**  
Instagram icon @benjaminbeech





ハリブーの遊び場のメインシンボルは、岐阜県東白川村のFSC認証木材を使用して作られた、鳥のような森の精霊です。



# エコ建築考房 の 健やかな理想郷づくり

注目の工務店、エコ建築考房を知る旅は、  
のどかな天然木の子供の遊び場、  
つなぐの森ハリプーから始まりました。

名古屋市から車で30分の愛知県一宮市に、econos(エコノス)があります。エコノスは、エコ建築考房が本社敷地内に展開する、地域に開けたぬくもりを感じる集いと憩いの場です。公園のようなオープン空間には木造のテーブルやベンチが置かれ、誰もが気軽に立ち寄れる憩いのスペースとなっています。私たちが訪問した日、そこでは、毎月定期的に行われているマルシェが開かれていました。手作りの小物やパンなど様々なものが販売され、ひっきりなしに人が訪れていました。子供が学校に行っている間、陶器や焼き菓子、有機農産物を買に来る主婦や、放課後、宿題の前に、外の広場でドーナツを頬張り、一休みする高校生の姿も見られます。まだ新しいながらも地域に溶け込み、日増しに地域の欠かせない場所となっているのです。

このような和やかな光景は決して偶然のものではありません。エコノスは、エコ建築考房代表取締役社長の喜多茂樹氏が、地域に開かれた場所となるように構想し、大切に育ててきたものです。しかし、彼にはさらに大きな、ビジョンがありました。持続可能な自然素材や木で作った建物で人を幸せにするというビジョンです。このような抽象的なことについて知ってもらうには、直接の体験しかない、と考えたのです。

つなぐの森ハリプー  
愛知県一宮市九品町 4-22

www.ecoken.co.jp/econos/halipuu/ ライセンス番号：  
FSC-P001908

© FSC / Ben Beech



森の中を探検しているような感覚をおぼえる遊び場は、よくある明るく広々としたものとは異なるデザインになっています。





© FSC / Ben Beech

この遊び場は、暗い洞窟を思わせるなど、楽しい仕掛けが満載で、子供たちをおとぎ話のような深い森の探検に引き込みます。「明るく広々とした遊び場とは違い、自然のかたちを丁寧に再現した曲線やデコボコ、狭くて暗い場所があり、お子様にとっては怖いながらも冒険心をくすぐります。この遊び場が子供たちにとって安全であるために、打合せの際は関係者に何度も相談しました。」と小田氏は語ります。

エコ建築考房の付帯施設として建てられたエコノスの一部は、その後、天然の無垢材でできた子供の遊び場、ハリプーとして生まれ変わりました。2022年8月のオープン以来、ハリプーのチケットは発売後すぐに完売。オンライン予約システムは開始から15分以内にチケットが売り切れるため、チケットを取るには事前の準備は不可欠です。

遊び場のデザイナー、安西好乃美氏は、ハリプーを深い森に見立てました。この遊び場の目玉は、この施設のシンボルでもある鳥のような姿の森の精霊像で、岐阜県東白川村のFSC認証木材を使って創られました。

「ハリプーは、自然の生き生きとした曲線を生かし、森本来の雰囲気を感じられるようにデザインされています。ハリプーという名前は、フィンランド語の「抱く」(Hali)と「木」(Puu)から来ていて、その狙いを表しています。この遊び場は100%国産の無垢材を使っていて、その他の素材もすべて自然由来で、化学物質は極力使っていません。楽しくて安全、それがハリプーの魅力です」とハリプーのマネージャー、小田千恵子氏は語ってくれました。



© FSC / Ben Beech

デザイナーの安西好乃美氏は、ハリプーのデザインを、山々の風景に触発されて作りました。彼女は、子供たちがぬくもりや愛情の中で遊び、学べる場を作りたいからです。写真は、ハリプーの建築模型です。





65平方メートルの遊び場は余すところなく活用されています。森の精霊「ハリプー」の裏側には、優れた職人技を鑑賞できる、静かな休憩場所があります。

© FSC / Ben Beech



© FSC / Ben Beech



© FSC / Ben Beech

元気な子供たちは、大喜びで波打つ滑り台を駆け登ったり下ったりします。

喜多氏にとってハリプーは、FSC 認証のメリットを伝える効果的なツールにもなりました。「ここでの時間を楽しむご家族は、ハリプーにもっといたいと自然に思うでしょう。ハリプーで遊んでいるうちにいつの間にか木の心地よさを体感し、もっと知りたいと思ってもらえたら本望です。」

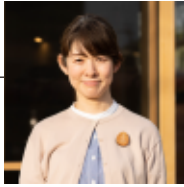
京都北部で育った喜多氏は、自然に囲まれて幼少期を過ごしました。結婚後、義父の建築会社を引き継ぎ、建設業界に入ります。彼の名前「茂樹」は「健康に茂った木」という意味です。その名前から、「きっとこの仕事をする運命だったんでしょうね」と彼は笑って言います。

## お客様が同僚に

喜多氏のビジネスビジョンは、義父から引き継いだ企業理念「健康な暮らしを支える家づくり」に基づいています。エコ建築考房が現在手掛ける建物は、新建材を使用せず、毒性がなく、極力化学物質を含まない天然素材で造られています。現代建築で一般的に使用されている合板や集成材の代わりに、エコ建築考房では、化学物質を一切含まない無垢材のみを使用しています。未加工の無垢材を使用することにより、木材加工における環境に対する負荷や脅威を防いでいるのです。化学薬品を使用した加工木材の場合は、家を取り壊された後、産業廃棄物として埋め立てられることになります。

同社に対する顧客の満足は、予期せぬ結果をもたらしました。従業員の約 20% にあたる 12 人は、かつてエコ建築考房で家を建てたお客様でもあります。彼らは企業理念に強く共鳴し、その哲学を実践しようとチームに加わったのです。その 1 人が 7 年前の小田氏でした。現在はハリプーのマネージャーの役割を担当しており、モデルハウスの案内役も兼任しています。

エコ建築考房の国産材の使用割合はどんどん増えています。その中には、FSC 認証を受けた、持続可能な方法で調達された、主にスギとヒノキの木材が含まれます。FSC 認証プロジェクトをさらに進めることによって、喜多氏は会社の知名度を上げることができると考えています。



小田千恵子氏

大阪で、典型的な都会っ子として育った小田千恵子氏の自然とのつながりは、たまのハイキングだけでした。母親になり、子供たちを育てる中で自然の中で過ごす良さに目覚め、今では彼女は子供たちと一緒に定期的に山歩きに出かけます。

ハリプーのマネージャーとして、千恵子氏はハリプーが単なる遊び場以上のものであると言います。それは、子供やその親、スタッフが集い、交流できる家族のような団欒のスペースでもあるのです。

**ハリプーのどの部分が子供たちに最も人気がありますか？**

おそらく森のトンネルに続く中央の階段のところですね。うねうね、ぼこぼこした階段を上っていくにつれて、森の中に入っていきそうな気持ちになります。子供たちにとっては、その先の未知の冒険へのドキドキと、新しい体験や目に映る美しい形への感動が入り混じった感じがたまらないでしょう。

**個人的にはハリプーのどの部分が一番好きですか？**

屋根裏の図書コーナーには照明がありません。代わりに、自然の光が小さな天窗から差し込みます。最も自然な状態で本を読むことで、本当に特別な経験となるのです。



© FSC / Ben Beech



© FSC / Ben Beech



未加工で化学添加物不使用のこの無垢材は、まだ何でも口に入れてしまうような乳幼児にも安心です。

子供にとって、木のおもちゃは集中力を効果的に高め、五感を刺激します。森の台所とお店は、想像力を育むままごと遊びに最適です。





© FSC / Ben Beech

代表取締役社長 喜多 茂樹氏

## B2B の法人顧客に FSC プロジェクト認証を広めるのに、共有できる知見はありますか？

最初の FSC プロジェクト認証は 2019 年の春日井の家で、次の認証取得はその 3 年後で、3 年もかかってしまいました。その間に、色々考えたのですが、企業は企業イメージを高めるものを求めており、SDGs の要素を含んだプロジェクト認証という選択肢を提供するのは理に適ったことと言えます。これまでのところ、FSC プロジェクト認証は顧客企業から喜ばれており、特に「業界初」というのが好評でした。初の FSC プロジェクト認証学習塾、コインランドリー、パン屋、ヘアサロンなど。WWF ジャパンからも応援していただいたことにより、法人のお客様からの信頼も高まっています。

## エンドユーザーである個人のお客様に対して気候変動や環境問題の解決に貢献できる FSC 認証材などの提案することは難しいですか？

そうですね。実際のところ、気候変動などの問題に対して FSC 材を利用するなどへの理解は道半ばです。しかし、日本政府が低炭素とエネルギー効率化を推進し、ソーラーパネルに多額の補助金を出している今、私たちはこれらの社会課題に応じて、エコ建築考房が考える省エネ住宅設計でより健康的な住まいや暮らしを消費者に紹介することができます。

## FSC プロジェクト認証推進の取り組みの影響はありましたか？

建設業界は狭い世界ですから、弊社の取組はあつという間に知られるようになりました。私たちの事業が地元の報道機関や東京のメディアにも取り上げられたことを嬉しく思います。

## 一日の中で、最もくつろげる時間はどんな時ですか？

始業前のオフィスの掃除を楽しんでいます。掃除に集中することにより心が鎮まります。帰宅後、お酒を飲みながらくつろぐのも好きです。

## 読者に伝えたいものは？

私は、より多くの方に FSC のことを知っていただきたいと思っています。人類が未来も健やかに暮らしていくためには、今日の環境問題に取り組まなければいけません。



© FSC



© FSC

地域に開かれた場所を作るために、喜多氏とエコ建築考房のチームはエコノスにグルグルドーナツやピザのキッチンカーなどに来店してもらっています。



© FSC / Ben Beech

精密で繊細な、ほぞ継ぎの接合は、大量生産のモジュラー住宅では真似できない伝統的な技術です。



© FSC / Ben Beech

漆喰は日本の伝統的な石膏であり、石灰、海藻糊、植物繊維から作られています。自然で毒性がなく、壁や天井などの表面に塗ることができます。



© FSC / Ben Beech

エコ建築考房は低温で乾燥された東白川檜を「輪切り」のサンプルにして、木の均一な年輪や、心地よい香り、滑らかな手触りをお客様に確かめてもらっています。

春日井の家  
愛知県春日井市西山町 2-8-1  
[www.ecoken.co.jp/modelhouse\\_02/](http://www.ecoken.co.jp/modelhouse_02/)  
ライセンス番号：  
FSC-P001773



© FSC / Ben Beech

© FSC / Ben Beech

シンプルな無垢材の家具は、新鮮な木の香りがして、日の光の下で温かい輝きを放ちます。





# 春日井の家

## 日本の風土と 技術を感じる建築

© FSC / Ben Beech

2019年、春日井の家は、エコ建築考房初のFSCプロジェクト認証取得プロジェクトとなりました。これは、国内初のプロジェクト認証モデルハウスでもあります。この建物の基礎、柱、梁はFSC認証木材で作られました。

収納機能も重要な点です。春日井の家は、大屋根を利用して、主寝室と子供用寝室の両方からアクセスできるウォークインクローゼットを作っています。



© FSC / Ben Beech

生活動線などの実用性は多くの日本の家庭において優先度が高く、室内空間は家族が動きやすいよう設計されています。オープンキッチンは家の中心にあることが多く、家族が集う、団欒の場となります。



© FSC / Ben Beech

# 森と海をまもる コインランドリー

14年前、東本氏は70年以上続く妻の実家の家業である勝川ランドリーを引き継ぎました。それ以来、クリーニング業界による環境汚染を食い止められないかと常に考えてきました。

「人間の活動は水循環に深刻な影響を与える可能性があります。世界の人口が増加するにつれて、私たち人間が海に与える負担も増えています」と彼は語ります。彼の海に対する深い愛着は、ビーチラグビー選手であった頃からのものです。

クリーニング業界による環境汚染の原因を掘り下げていくと、洗濯による過度のエネルギー使用、非生分解性洗剤、およびそれらが引き起こす水垢が主な原因であるとわかりました。独自の環境に負担をかけない洗剤を開発しようというアイデアを彼が思いついたのは、その時でした。

2022年2月、東本氏は、所有していた3つのクリーニング店と4つのコインランドリーに加えて、愛知県春日井市に環境に優しいコインランドリーをオープンしました。森林と海洋の保全をテーマにした新店舗は、エコ建築考房の設計、施工によるものです。

エコ建築考房は、環境に配慮し、次世代まで長く快適に過ごせる家づくりに取り組んできました。建物の主要構造部には、岐阜県東白川村のFSC認証材を使用しました。壁の断熱材にはニュージーランド産の天然ウールを、塗装には自然素材の漆喰を使用しています。エコ建築考房代表取締役社長の喜多茂樹氏がFSCプロジェクト認証の取得を提案し、2022年4月にはコインランドリーの店舗として国内初の認証を取得しました。



建物の基礎、柱、梁はFSC認証木材で作られました。



# コインランドリー と学習塾



© FSC / Ben Beech

日本の大企業は、持続可能な開発目標(SDGs)への関心を高めています。大企業が中小企業から学ぶことが珍しい中、東本氏は持続可能なビジネスに関するアドバイスを頻繁に求められています。



© FSC / Ben Beech

同じ志をもつ東本氏(右)とエコ建築考房代表取締役社長の喜多茂樹氏が共同で作上げた「森と海をまもるコインランドリー」は、エコ建築考房が手掛けたFSC認証プロジェクトの中でも、最も重要なもののひとつです。



© FSC / Ben Beech



© FSC / Ben Beech

「森と海をまもるコインランドリー」の室内で感じる癒されるような木の香りは、従来のコインランドリーによくある、合成洗剤のにおいとは全く違う趣を醸し出しています。

14



© FSC / Ben Beech

エコ建築考房は、断熱材としてニュージーランド産の天然ウールを木の壁の内部に使用しています。ウールは春や夏は、優れた透湿性で湿気を効果的に放出し、秋冬には、優れた保温効果を発揮し、エネルギー効率を高めます。



© FSC / Ben Beech

東本氏は、より洗浄効果が高い生分解性の洗剤を開発し、コインランドリーでの水の過剰消費を減らしました。



© FSC / Ben Beech

世界の海への負荷は増す一方です。適切に管理された森は、水循環や生態系の安定に役立ちます。

森と海をまもるコインランドリー  
愛知県春日井市松新町 4-8-1

[www.kachigawa.com](http://www.kachigawa.com)

ライセンス番号：FSC-P001898



東本氏は、当初、FSC やプロジェクト認証というコンセプトには全く馴染みがなかったと言います。しかし、この「業界初」という言葉が広まるにつれて、彼は FSC 認証の価値や影響、そしてビジネスの持続可能性を、徐々に理解し始めました。「以前は、割引とセールだけが顧客を引き付けるものでした。というも、一般の人たちが環境や気候変動を自分事と考えることはほとんどなかったからです。」何が正しいか誤りかを主張するのではなく、より環境にやさしい提案をしているのだと彼は言います。そしてそれはうまくいっています。人々は子供たちの将来のために学び、行動することにますます関心を持つようになり、この新しいコインランドリーへの地域からの支持は広がっています。

#### FSC 認証を他の企業にどのように勧めますか？

私たちは昔から先人の経験を参考にしてきましたが、気候変動のような新しい問題には、頼れる先人の知恵がありません。世界に広く認められている FSC 認証は、サステナビリティに対する企業の在り方の基準や重要なツールになりえます。

#### 読者へ何かメッセージはありますか？

私たちは大量消費の時代に生きています。物質的には、私たちは恵まれています。私が皆さんに伝えたいことは、責任ある消費から始めましょうということです。子どもたちの未来を守りたいなら、世界の限りある天然資源を持続可能な方法で享受しましょう。



代表取締役社長 東本 猛氏

# 木の香りに癒される 学びの空間



© FSC / Ben Beech

#### FSC プロジェクト認証のメリットは何だと思えますか？

この国際的に認められた認証が、森林や木材を責任を持って管理する重要性について教えてくれます。これは、生徒やその家族にとって素晴らしい環境教育のひとつになっています。

#### 一日の中で、一番好きな時間は？

毎朝このドアをくぐった瞬間です。気分が高まる木の香りが鼻に入った瞬間、すぐに一日を始めようという素晴らしい気分になります。この香りは生徒の気分を明るくし、学ぶ意欲を高めるのにも役買っています。



© FSC

西川 和美氏

塾講師の西川和美氏は、名古屋の北にある公文式五条和み教室を運営しています。キャビン風の木造1階建ての教室は、2021年11月に完成し、2022年4月に国内の学習塾として初めて FSC プロジェクト認証を取得しました。



© FSC

公文式五条和み教室のFSCプロジェクト認証に関する多くのメディア記事が、教室の目立つところに展示されています。

#### 公文式五条和み教室

愛知県北名古屋市法成寺蚊帳場 99-1

ライセンス番号：FSC-P001895



# 東濃檜 自然からの贈り物

檜は、まっすぐで目の細かい、品質が高い木材です。  
シロアリなどの害虫に強い耐性があることも、建材としての魅力のひとつです。  
エコ建築考房が使用するFSC認証ヒノキ材は、岐阜県東白川村から調達しています。

16

© FSC / Ben Beech

森林は東白川村森林組合がFSCの厳しい基準に則って管理しています。森林の約70%はヒノキの人工林です。



流通する木材の多くは、3日から4日間、高温(120°C)で乾燥処理されます。東白川製材協同組合では、木材本来の香りを保ちながら粘りや強度を維持するため、6日間で低温(60°C)で乾燥するものもあり、エコ建築考房は、この低温乾燥の木材にこだわって調達しています。



東白川製材協同組合の工場は、2003年からFSCのCoC(加工流通過程)認証を取得しています。多くの大規模な工場で選別工程が完全に自動化される中、ここでは技師たちにより最高品質の木材が選定されます。





© FSC / Ben Beech



© FSC / Ben Beech

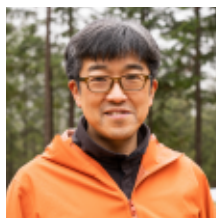
岐阜県東白川村は、適度な気温、湿度、日照量、降雨量で、温度差が大きいこともあり、ヒノキの生育条件に適しています。この地のヒノキは美しく耐久性もあり、東濃檜と言うブランド名の最高品質の建材として高く評価されています。

東白川製材協同組合（木彩工房ネットワーク）  
岐阜県加茂郡東白川村神土 2594-1

[www.e-hinoki.com](http://www.e-hinoki.com)

ライセンス番号：  
FSC-C015059

© FSC / Ben Beech



東白川村森林組合  
大崎正秀氏

大崎正秀氏は、田舎の生活へのあこがれがあり、東白川村に魅力を感じていました。幸運にも、20年前に東白川村森林組合の求人を見つけて以来、ここに移住し、現在も森林管理を担当しています。

### あなたにとって森とは？

森は神様からの贈り物だと思います！森は私たちに経験、喜び、そして多くの貴重な天然資源をもたらしてくれます。神様と森に感謝しています。

### 気候変動に強い森林管理とは何ですか？また気候変動の影響を感じていますか？

日本には、効率的に管理すべき多くの人工林があります。森林整備の遅れは、問題の1つにすぎません。東白川村の生態系も同様に変化しており、私が20年前に移住してからも、かなりの数の外来種の鳥や昆虫が定着しています。地球規模の気候変動の影響は、このような小さな地域でも感じられます。



© FSC / Ben Beech

東白川の森を守るチーム



© FSC / Ben Beech

(左)大崎氏とエコ建築考房代表取締役社長の喜多氏。この日、喜多氏は顧客向けに森林ツアーと植林イベントを主催しました。会議室でお客様に木材の良さについてお話するよりも、このイベントによる体験の方がはるかに効果的だと彼は考えています。「この人たちと話し、東白川村を直接体験すれば、自分の家への感謝の思いが深まりますから。」



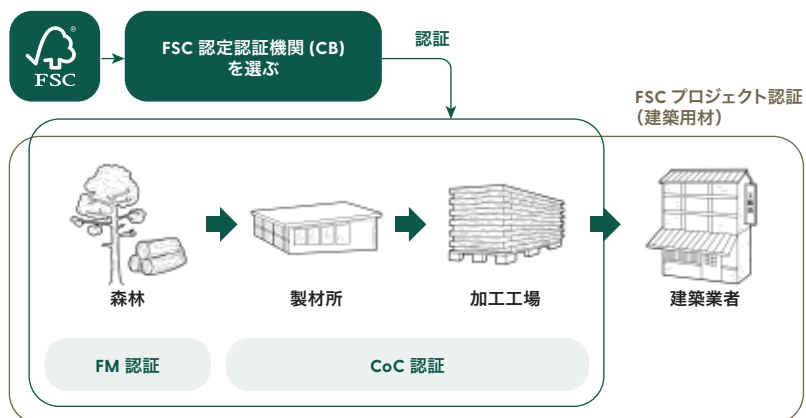
# FSCプロジェクト認証について

FSC のプロジェクト認証は、建築物など、ひとつひとつデザインや製造工程が異なるものについて、使用されている森林由来の原材料が FSC 認証で認められたものであることを示しています。この認証により、建設業者、建築家、施主などの方々が、FSC の商標を使用して、持続可能な森林管理への取り組みを示すことができます。

## FSCプロジェクト 認証について



## 仕組み



## お問い合わせ

### FSC Japan

🌐 ホームページ



📍 お問い合わせ



📧 ニュースレター (無料) のお申込み



📘 Facebook



### FSC Asia-Pacific Team

🌐 [www.asiapacific.fsc.org](http://www.asiapacific.fsc.org)



### FSC International

🌐 [www.fsc.org/en](http://www.fsc.org/en)



FSC® F000100

FSC X イド・インド・アジア・パシフィック・ラッシュ



FORESTS  
FOR ALL  
FOREVER

FSC LABEL